



看護部新人研修紹介



城北病院看護部研修のモットーは「共育」～ともに育ちあう～です。

卒後研修の研修期間は3年間で、法人内のセンター病院である城北病院で初期研修を行います。

城北病院の看護理念「患者様が望む場所での健康な生活の維持と健康の実現を目指します」「平和で一人でも安心して住み続けられるまちづくりを目指します」の基、一人ひとりの患者様とじっくり関わり、事例を通して疾患の理解や技術習得をする基礎づくりを行って

きます。看護の基本を意識し、患者様の全体像を理解できるようにパートナーと共に職場全体で学び、育ちあうことを大切にしています。

4月5月は毎週1回の集合研修、6月からは毎月1回の研修を行い、技術の習得だけではなく、仲間との交流も大切にしています。「患者様の立場に立つ」ことができ、なにより「看護の楽しさ」を感じることができるよう研修をすすめています。

私たちがめざすもの

医療福祉宣言 城北病院 城北診療所

私たちは、ヘルスプロモーションホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231
http://jouhoku-hosp.com
E-mail renkeisitu@jouhoku.jp



医療福祉連携相談室だより

Jo-HOKU No.63

2022.5.20 spring



今回の診療報酬改定で 加速した地域における医療機関間の連携

城北病院 医療福祉サポートセンター長 齊藤 典才

2022年4月に診療報酬改定が行われ、各医療機関ではその対応に追われているものと思います。今回の改定には、オンライン診療の恒久化、リフィル処方箋の導入など医療政策的に容認できないものが含まれており、これらは医師会をはじめとした医療関係団体による適正化への運動が望まれるところです。その一方で100年に1度のパンデミックと言われる新型コロナウイルス感染拡大を経験し、いまだ収束の兆しは見えていないものの、少しずつ私たちの日常生活や社会活動は元に戻りつつあるようです。今回の改定でその影響を強く反映しているのが、外来感染対策向上加算の新設と言えます。今までは、国の要請に応える形で発熱外来を設置したり、診療・検査医療機関として登録している医療機関数は石川県の診療所のうち、約3分の1でした。この外来感染対策向上加算は地域の感染対策向上加算1や医師会等と連携することにより、いくつもの要件があるものの、比較的容易に算定できる仕組みとなっており、こうしたパンデミックへの対応を医療界全体で対応してほしいという強いメッセージが込められているように思います。また、コロナ患者の重症者は急性期を担う大病院で、重症時期を脱すると地域の後方支援病院へと移す政策も含まれています。国を始めとした行政は、地域での各医療機関の役割分担を明確にし、地域全体でピンチを乗り越えてほしいという期待が込められているのでしょうか。われわれ地域医療を担う側も、県民の医療を担いその不安を解消させるためにも、今まで以上に地域連携を前進させる必要があると思っています。

2022年度 新職員33名を 迎えてスタート!

城北病院・診療所は33名の新しい仲間を迎えました。皆様の期待に応えられるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

★新職員 しょうがい



放射線技師

患者さんの異常をいち早く発見できるような写真を撮れるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



臨床検査技師

覚えることが多く、慣れないことばかりではあり大変ですが、何事にも精一杯取り組みます!よろしくお願いいたします。

医療ソーシャルワーカー



様々な制度やあらゆる社会資源を活用し、安心して相談いただけるようなソーシャルワーカーを目指し、患者さんやご家族に向き合うことを大切に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



保育士

「病児保育室を利用するときははっぴ〜を利用したい」と保護者の方に思っただけのように頑張りたいです。また、利用する子どもたちに安心して過ごしてもらえるように、笑顔で接することを常に心がけていきたいです。

理学療法士・作業療法士



今年度は、理学療法士2名、作業療法士1名が入職しました。不安も多いですが、先輩方に追いつけるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

事務



皆さんと一緒に働けることがうれしいです。患者さん、そして地域の人々とのつながりを大切にして日々の仕事を頑張っていきたいと思っております。これからよろしくお願いいたします。

看護師

今年度は、12名の新人看護師を迎えました。病棟、OPE室、救急外来に配属し研修を開始しています。

採血、注射などの技術のみではなく、地域に求められる病院の地域に求められる看護師を目指し日々奮闘しています。



★新ドクター 初期研修医の紹介

introduction



いわさき あきほ
岩崎 明穂

金沢大学附属病院からのたすきがけで1年間お世話になります、研修医1年目の岩崎明穂です。学生実習でお世話になった際、若手の先生からベテランの先生まで幅広く声をかけて頂き温かい印象を持ちました。患者さんと接している時にもそのお人柄が現れており、病気だけでなく生活や人間性にも親身に向き合う姿を見て、ここで研修医として学ばせて頂きたいと思えました。城北病院で1年かけて医師としての心構えを学んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



おの まりこ
大野 真理子

城北病院で実習した際「おでかけ」を見学しました。その時、医師と多職種が「患者さんをおうちに帰すために何が必要か」をディスカッションしながら、実現させていく姿をみて、私もここで医師として働きたいと思えました。地域で生活する人が「その人らしく生きる」ことができるよう、お手伝いできる医師になりたいと思っております。精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



かとう ひろゆき
加藤 裕之

はじめまして。城北病院研修医1年目の加藤裕之と申します。出身地は埼玉県です。小児のとき、私は病院の方々に2回命を救ってもらいました。成長してからは、健康や育児に不安を感じながら生きている人が社会に多いことを知りました。これらの経験を通して、私は医師になりたいと思えました。石川県での生活は7年目に入り、地域のみなさまのお役に立てることは私にとって大きな喜びです。精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



ながさわ とおる
長澤 徹

初期研修医の長澤徹と申します。大学4年次に城北病院での1日実習として、透析や訪問診療を見学させて頂き、また、研修報告会にも出席する機会がありました。その中で、城北病院と地域の人々との繋がりや、研修医の班会活動を知り、城北病院で研修を行いたくなりました。大学在学中は公衆衛生の研究をしていたこともあり、患者さんの疾患だけではなく、生活・背景もみることができる医師になりたいと考えています。